

特徴（要約）

日本の精神の中心である伊勢神宮がある伊勢志摩国立公園では、人々と自然が調和の内に共存しています。この国立公園には、入り組んだ海岸線と、豊かな森があります。

日本の最も重要な神社である伊勢神宮は、太陽の女神である天照大神を祀っています。伊勢神宮は、2000 年以上にわたって、伊勢志摩で培われてきた自然と人々の古くからの関係を象徴的に表す存在です。

伊勢志摩国立公園の指定区域の 90%以上は、私有地です。これが意味しているのは、この地には、生活の糧を与えてくれる自然環境の中で生き、尊ぶことを、伝統としてきた人が多くいるということです。この地域の海女と呼ばれる女性ダイバーたちが昔から自然を保護するために従ってきた決まりと、現代の漁業規制によって、伊勢エビやアワビのようなすばらしい食べ物を、これから何世代にもわたって賞味することができるようにしています。

内陸部の森林の生い茂る山々から、外海から守られた湾、太平洋岸のギザギザした岩の段丘にいたるまで、伊勢志摩国立公園の景観は広大で多様であり、地域の人々と自然が幸せに共存しているユニークな文化を体験する多くの機会を提供しています。